日本酪農教育ファーム研究会
令和７年度　定期総会

日時：　令和７年６月７日（土）10:00～

会場：　　オンライン

式　次　第

１，　開会

２，　会長挨拶

３，　来賓挨拶

４，　議事

①　令和６年度事業報告・決算

②　令和７年度事業計画・予算（案）

５，　閉会

令和６年度事業報告

【諸活動の概要】

１．研究会の活動

（１）**定期総会の開催**

日時：令和５年６月 25 日（日）13 時～14 時　オンライン

参加人数： 15 名

内容：令和５年度事業報告および決算・令和６年度事業計画および予算

（２）**研究集会の開催**

＜令和６年度酪農教育ファーム実践研究集会＞共催：（一社）中央酪農会議

日時：10 月 27 日（日）13 時～16 時

参加人数：50 人　場所：オンライン

【前半】実践発表

① 小学校・中学校・高校での酪農学習のプログラム
安達永補（北海道安達牧場）

② オンライン酪農体験 横山弘美（東京）

③ 酪農すごろく 林眞平（鹿児島）

【後半】

① 講演「食品リサイクルによる持続可能な酪農～エコフィードの取り組み」
高橋慶(有限会社環境テクシス)

②「酪農家が語るエコフィードの取り組み」
吉田恭寛（吉田牧場）

（３）**例会**

12 月 26 日（木）20 時から 21 時半　参加者 13 名

「楽しい！から伝えるミルクの価値」 ミルクマイスター高砂さんのお話

3 月 8 日（土）20 時から　　参加者 15 名

「小中高と連携した酪農の総合学習～北海道標津モデルの創造～」

Happy Land 安達牧場の安達永補さんの実践報告　　北海道立標津高等学校　教頭　木幡伸二さん

標津町立川北中学校　教諭　熊谷望実さん　標津町教育委員会　生涯学習指導主幹　永谷隆夫さん

（４）**役員会**　すべてオンライン

４月11日、8月26日、11月14日、3月29日

内容：定期総会、例会の準備、研究集会の準備とまとめ

（５）研修会・イベント等の参加・開催

２．その他

・研究会員は、現在 90 名。

・研究会メーリングリストは、らくらく連絡網＋に移行中.

・研究会 facebook（フォロアー693 人）で情報発信を行う。

令和6年度　日本酪農教育ファーム研究会決算

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1．収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算	増減△は減	備　考
前年度繰越金	121,628	121,628	0	
会費	180,000	113,000	△ 67,000	2,000円×51名・1,000円×1名・昨年度支払済3名・4,000円×2名（昨年度分含む）、2,000円×1名（来年度分）
研究受託費	0	0	0	
賛助金	70,000	70,000	0	（一社）中央酪農会議
その他	0	86	86	利息
合計	371,628	304,714	△ 66,914	

2．支出の部

項目	本年度予算	本年度決算	増減△は減	備　考
会議費	30,000	13,200	△ 16,800	研究会会場費・会議運営費
調査研究費	150,000	33,350	△ 116,650	交通費
印刷代	0	0	0	案内状
通信費	30,000	32,625	2,625	郵券
備品	0	0	0	
消耗品	10,000	2,602	△ 7,398	事務用品等
謝金	120,000	100,000	△ 20,000	講師謝礼・資料代
雑費	5,000	2,365	△ 2,635	手数料等
予備費	26,628	0	△ 26,628	
繰越金	0	120,572	120,572	
合計	371,628	304,714	△ 66,914	

上記の通り収支したことを報告します。

令和7年3月31日

会長　福井みどり　印

事務局　横山弘美　印

監査の結果、収入・支出とも適正と認める。

令和7年3月31日

監事　酒井彰敏　印

監事　亀山桂子　印

令和７年度　事業計画

新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されつつある中、学校現場や地域において、体験的な教育活動が再び活発化している。ICTやAIの普及により、オンラインでの学習も一定の効果を見せているが、児童生徒に対する教育においては、対面による実体験の重要性が改めて認識されているところである。こうした社会的背景を踏まえ、本会においては、酪農教育ファームの実践活動をより一層推進し、児童生徒が生産者や地域社会と直接触れ合う機会の充実を図ることとする。これにより、食と命に対する理解を深めるとともに、酪農業への関心を高め、次世代の人材育成に寄与することを目的とする。また、酪農現場における担い手不足が深刻な課題となっている現状を踏まえ、教育活動を通じて児童生徒に酪農の魅力を伝えることも、将来にわたる産業の持続的発展の一助となるものである。

1　年次研究会の開催「学校と牧場をつなぎ、教育的な実践を推進する」をテーマに、実践発表と協議等を行う。今年度も（一社）中央酪農会議と協力して開催する。（オンラインまたはハイブリッド）

2　「酪農とキャリア教育」について実践から学び、キャリア教育における酪農教育ファームの可能性を探る。

3　酪農教育ファームに関心のある方が実践しようと思えるような、現場のニーズに応じた学習プランや体験プランを作成しHPにアップする。

4　研究会ホームページやSNS等とともに活用し、広く酪農理解を深める。これまでの成果物を随時アップして、アクセスしやすくする。そのことによって酪農教育ファーム活動のことをより知ってもらう機会にする。

５　他機関のセミナーやイベントの参加
他機関が開催するセミナーやイベント、農林水産省・（一社）Ｊミルク主催「牛乳でスマイルプロジェクト」等に参加

６　酪農教育ファーム活動に関した実践交流、意見・情報交換
（ア）定期的に例会を開催することにより、日常的な会員相互の実践交流を活発に行う。
（イ）メーリングリストやFacebookグループによる情報交換、実践及び研究の報告を行い、ネットワークを強める。ライングループの作成を検討する。

７　その他研究会の目的を達成するための事業
本研究会の設立やその趣旨について、教育関係及び農業関係のメディアを通して積極的に広報し、新規会員を増やすと共に、多くの関係者の研究会参加を促進する。また、本委員会の活動を円滑に推進するための仕組みや方法などについての検討を進める。

【　活動予定　】（役員会は随時行う）

月日	時間	場所	内容
6月7日（土）	10:00～	オンライン	**定期総会**・例会
8月22日（金）	午後	板橋区立志村第三小学校	**ヨーグルトについて**
9月7日（日）	19:30	オンライン	**例会：プランづくり**
11月1日(土)	13:00	オンライン	**実践研究集会**
１月18日（日）	19:30	オンライン	**例会：実践報告**

令和7年度　日本酪農教育ファーム研究会予算 ~~（案）~~

項目	昨年度決算	本年度予算	増減△は減	備　　考
前年度繰越金	121,628	120,572	△ 1,056	
会費	113,000	180,000	67,000	2,000円×90（教育関係者、酪農家等）
研究受託費	0	0	0	
賛助金	70,000	70,000	0	（一社）中央酪農会議
その他	86	0	△ 86	
合計	304,714	370,572	65,858	

項目	本年度決算	本年度予算	増減△は減	備　　考
会議費	13,200	30,000	16,800	研究会会場費・会議運営費
調査研究費	33,350	120,000	86,650	交通費・資料費等
印刷代	0	0	0	案内状
通信費	32,625	30,000	△ 2,625	郵券
備品	0	0	0	
消耗品	2,602	10,000	7,398	事務用品等
謝金	100,000	130,000	30,000	講師謝礼
雑費	2,365	5,000	2,635	手数料等
予備費	0	45,572	45,572	
繰越金	120,572	0	△ 120,572	
合計	304,714	370,572	65,858	

役員

会長	福井　みどり	板橋区立志村第三小学校
副会長	高橋　淳一	帯広市立東小学校
事務局長	横山　弘美	東京女子体育大学
事務局	角井　深雪	山口県周南市立秋月小学校
会計監査	酒井　彰敏	関東生乳販売農業協同組合連合会
会計監査	亀山　桂子	三鷹市立第一中学校
理事	吉田　恭寛	吉田牧場
顧問	國分　重隆	国士舘大学